

令和3年度　さいたま市地域公共交通協議会
第1回東西交通専門部会　議事録

□日時：令和3年11月5日（金）10時00分

□場所：新都心ビジネス交流プラザ 4階 会議室A

□配布資料

- ・ 次第
- ・ 出席者名簿・席次表
- ・ 資料1　　東西交通大宮ルート検討の概要
- ・ 資料2　　令和2年度専門部会意見への対応方針
- ・ 資料3　　令和3年度専門部会の協議内容

1. 開会

【事務局】

- ・ 定刻となりました。令和3年度さいたま市地域公共交通協議会第1回東西交通専門部会を開会します。
- ・ 本日の資料について確認します。

（配布資料の確認）

【事務局】

- ・ これより議事に移りますが、進行につきましては、さいたま市地域公共交通協議会東西交通専門部会設置規程の規定によりまして部会長が議長となることとなっておりますので、これからの会議の進行は部会長にお願いします。

【大沢部会長】

- ・ 本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。東西交通専門部会設置規程により議長を務めさせていただきます。
- ・ まず委員の出席状況について事務局より報告をお願いします。

【事務局】

- ・ 委員の出席状況についてご報告します。本日は14名の委員の中、11名の方にご出席いただいております。従いまして、委員の過半数に達しておりますので、専門部会設置規程によりまして本日の会議は成立いたしますことをご報告します。

【大沢部会長】

- ・ 事務局の報告のとおり、本日の会議は成立しております。
- ・ 次に、会議録署名委員を決めたいと思います。さいたま市地域公共交通協議会東西交通

専門部会運営規程により、私から指名します。

- ・ 今回の署名については、佃委員、関根委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(署名委員の指名について了承)

【大沢部会長】

- ・ 佃委員、関根委員、後日事務局が議事録を作成の上、お持ちしますので、ご署名をお願いいたします。
- ・ 続きまして、本日の会議の公開についてお諮りします。本日の議事に関して非公開事項に該当する案件はありますか。

【事務局】

- ・ 本日の会議については非公開事項に該当する議事はありません。

【大沢部会長】

- ・ 事務局から本日は非公開事項に該当する議事がないということでしたので、本日の会議を公開で行いたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(出席者全員一致で、会議を公開で行うことを確認し、了承)

【大沢部会長】

- ・ 本日の会議は公開といたします。
- ・ 事務局から傍聴者について報告をお願いします。

【事務局】

- ・ 本日は 2 名の方の傍聴者がいらっしゃっています。傍聴者が入場するまでしばらくお待ちください。

(傍聴者について了承され、入場)

【大沢部会長】

- ・ 議事に入ります前に、傍聴される皆様に傍聴上のご注意を申し上げます。事務局より配布しました傍聴要領をお読みになり、遵守いただきますようお願いいたします。また傍聴要領に反する行為をした場合には退場していただく場合もありますのでよろしくお願い致します。

【事務局】

- ・ 一点、事務局から補足いたします。昨年 9 月の専門部会におきまして一部の委員の方から、会議中、委員以外の会話が気になるというご指摘がありました。関係者の皆様も

含めまして、会議中には会話や発言をお控えいただきますよう、会議の進行にご協力をお願いします。

【大沢部会長】

- ・ 本日も短い時間の中で審議いたしますので、会議中、本件の内容以外の発言等はお控えいただきますようお願いいたします。それでは議事に入ります。

2. 議事

(1) 東西交通大宮ルート検討の概要

【大沢部会長】

- ・ 本日は3件議事があります。まず(1)東西交通大宮ルート検討の概要について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料1 「東西交通大宮ルート検討の概要」の説明

【大沢部会長】

- ・ 只今、事務局より説明のありました東西交通大宮ルート検討の概要について、何かご質問はございますか。

【小野委員】

- ・ 資料1のp.5に記載のある第Ⅳ案について、既存の道路はかなり混雑しており幅員も狭いため、このルートの実現性は高くないのではないだろうか。

【事務局】

- ・ 第Ⅳ案については、現道をそのまま活用していくものではなく、都市計画道路の拡幅を含めて整備していく案となっております。

【大沢部会長】

- ・ ありがとうございます。次に、令和2年度専門部会意見への対応方針の説明をお願いします。

(2) 令和2年度専門部会意見への対応方針

【事務局】

資料2 「令和2年度専門部会意見への対応方針」の説明

【大沢部会長】

- ・ 只今、事務局より説明のありました令和2年度専門部会意見への対応方針について、何かご質問はございますか。
- ・ ご質問がないようですが、会の最後にも質問を承りますので、その際に頂いても構いま

せん。

- ・ 次に、令和３年度専門部会の協議内容の説明をお願いします。

(３) 令和３年度専門部会の協議内容

【事務局】

資料３ 「令和３年度専門部会の協議内容」の説明

【大沢部会長】

- ・ 只今、事務局より説明のありました令和３年度専門部会の協議内容について、何かご質問はございますか。
- ・ 特に、検討ステップや検討内容、検討の方向性、新交通導入による新しいライフスタイルの定着についてどう思うかなどご意見を頂きたい。

【小野委員】

- ・ 新たに東西交通を導入することにより、大宮駅の結節点としての役割は大きくなると感じます。現状の大宮駅周辺の施設や設備の状況からは、バスターミナルなどの結節点設備が一つの条件と思われるがいかがか。

【事務局】

- ・ 大宮駅の結節点整備としては、大宮駅グランドセントラルステーション化構想に示されており、また、大宮駅西口もバスターミナルの計画があり、さらなる交通結節点整備を進めていきたいと考えております。

【大沢部会長】

- ・ 既存の空間のままでは限界が出てきます。大宮駅の周辺までは定時性が保たれるが、駅近くでは混雑をし、結果として定時性を保つことが困難になるかもしれない。台湾のBRTは、このような問題が原因となって１年で廃止になってしまったという事例があります。
- ・ また、駅周辺は用地確保が難しく新たな交通の導入の空間をいかに確保していくかということ、既成市街地に入った際の定時性の確保が論点になると考えられます。大宮駅グランドセントラルステーション化構想やその他のプロジェクトなど既存プロジェクトに合わせていく必要があるのではないのでしょうか。

【高田委員】

- ・ 大宮駅周辺の利便性が高くなるのは良いと思います。一方で、バスタ新宿は良かったが、その後、バスタプロジェクトが全国に広がったが上手くいっていない箇所もあると伺っています。例えば、福岡の西鉄天神高速バスターミナルでは混雑しており利便性あまり高くないとのことであり、鳥瞰的な視点を持って進めてほしいと感じました。
- ・ p.9のルートの前提条件について、土地収用含めどれくらいの費用が発生するのかを算出できると分かりやすい。

- ・ 宇都宮市の先進事例について、施工の遅れや事業費の増加といった課題を抱えているので、参考にして頂きたい。

【事務局】

- ・ 以前の部会資料で、概算コストを示している。ただし、そのコストの中には都市計画道路の整備に関する費用は含まれてはいない。これらを含めて B/C を算出していく必要があると考えている。

【大沢部会長】

- ・ 事業推進に関するリスクヘッジについては、先進自治体にヒアリングして分析をしていけると良いと感じます。

【大沢部会長】

- ・ その他にご質問はございますでしょうか。
- ・ 私からは、カーボンニュートラルなどの環境負荷について、新たな交通システム導入についてどれくらいの効用が見込まれるのか、そして、ひとりひとりの暮らしがどのように豊かになるかを議論できれば良いかと思います。
- ・ また、コロナ後においてトリップ長が長いものは回復する可能性は低いかもしれない。一方で、トリップ長が短距離なもの、例えば、在宅勤務をしているが、昼食は大宮に出かけるなどの行動は想定できるため、コロナ後は短距離の移動に着目していくことが良いかと思います。交通技術系の指標のみではなく、様々な考え方をもって幅広に評価ができると良いと思います。

【事務局】

- ・ カーボンニュートラル等に対しては、東西交通のハード施策に加え、モビリティ・マネジメント等のソフト施策を合わせて実施していくことが必要だと考えています。
- ・ また、検討ステップ①東西交通大宮ルートの一必要の再検証の中で、社会情勢・くらしの変化を踏まえた将来的な東西交通の一必要の再検証を実施いたします。こちら一早くも整理して、公共交通はどのような役割を持つべきか、暮らしにどのような影響を与えるか、部会の中で議論させて頂ければと考えています。

【戸村委員】

- ・ バスの定時性確保や交通基盤整備の一必要もあるが、コロナ後の新たなライフスタイルの提案など、東西交通導入をまちづくりとして捉えて議論を深めていけると良いか一思います。
- ・ また、地下鉄 7 号線延伸との兼ね合いなども検討できると良い一思います。

【大沢部会長】

- ・ ご指摘にありましたように、この専門部会において沿線まちづくりはどの程度議論していくのかを事務局から説明頂ければ一思います。

【事務局】

- ・ 地域公共交通計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画などを踏まえて、議論を

深めていければと考えています。

【大沢部会長】

- ・ 土地利用は調整区域で新たな開発という時代ではありませんが、大規模な災害などを契機に郊外に向かうという情勢が今後無いとは言い切れない部分もあります。ただし、現在の方針としては、立地適正化計画を含めて、市街化区域を重点的に考えているということかと思います
- ・ 一方で、地域公共交通協議会では地域公共交通計画素案に記載されている市民アンケートの中で、バス待ち環境を改善して欲しいという声が多いということも事実かと思っています。その意味で、新しい交通環境を考える際には、駅周辺のまちづくりと一緒に考える必要があります。例えば雨の日には傘をさして駅の周辺で LRT を待っているということでは話にならないかと思うので、まちづくりとの連携ということも重要な要素になるかと思っています。

【田中オブザーバー】

- ・ バス待ち環境については、かなり大きな問題があると認識しております。欧州の LRT では人の足としてすぐに使える状態にあり、小さな大都市だなと感じた。ヒト・モノの移動が簡単にできており、交通体系がいかに重要かということを感じています。
- ・ 何十年もの間、研究会を行っており、様々な国にも視察を行い、その中で、LRT には終点と起点があるということを学んだ。その経験から、大宮を終点とした際に十分な整備ができる環境が十分にあるのかという疑問を抱きました。
- ・ ウォーカブルをはじめ、お題はたくさん上がっているが、解決案は出てきていないため、お題に対して解決案をどうするのかを検討する必要があると思います。
- ・ また、ルートについては、直接大宮に繋がるのではなく、新都心を経由したものが良いのではないかと思います。

【大沢部会長】

- ・ 次期答申に向けて議論を進める中で、どこかできちんと判断をしなければいけないと思います。ただ、判断をするためにはきちんと課題を示したうえで、解決策を示す必要があります。その意味で結論を先に延ばすことなく、どこに課題があるのか、それに対してどのような解決策が考えられるのか、この会議の中でもしっかりと議論させて頂きたいと考えています。
- ・ ルートについては、既存の交通との重ね合わせ、役割分担、関係性の整理が必要になると考えられるので、事務局には分析・整理をお願いいたします。

【小野委員】

- ・ この部会での検討において、国の動きを反映させることが重要だと思います。
- ・ 環境、震災、ポストコロナ、一極集中などのテーマについては国としてはどのような考え方をしているのかを整理頂きたい。
- ・ 国の動きと連携されていれば、市民感情の面からコンセンサスも得られやすくなるの

はないかと思ったため、指摘させて頂いた。

【事務局】

- ・ 次期答申に向けて、国等の最新情報は前段で整理していくことを考えています。

【大沢部会長】

- ・ 答申の概要を示しております、資料1のp.2の右側中段の「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」をご覧いただけますと、東西交通の必要性が位置付けられている。これはかなり大きな後押しになると思います。
- ・ また、同じくp.2の右側下段の「駅空間の質的進化に資するプロジェクト」において、大宮駅が位置付けられている。駅に滞留する機能はビジネスとして大きいため、駅空間の質的向上を国が推し進めていると考えます。

【中村委員】

- ・ 資料3のp.8について、3つの交通システムのメリット・デメリットを示しているが、建設費の比較対象としての差がかなり大きいと感じました。
- ・ また、実際に東西交通が導入されることによって、どのようにまちづくりに効果があるのかという視点も必要であると思います。

【事務局】

- ・ 建設費の問題は大きいため、既存路線バスの拡張などから段階的に整備していくことも考えられます。

【大沢部会長】

- ・ 建設費に車両の費用は入っているのかなど実際に検討していく際には詳細な検討が必要になります。
- ・ まずは、公共交通の占有空間の確保としてバス専用レーンで整備を行い、のちにLRTに転換するなど、段階的な整備というパターンも考えられます。

【大沢部会長】

- ・ 本日、様々なご意見を頂戴しましたが、その他にございましたら、後日、事務局にお寄せいただいても構いません。

3. その他

【大沢部会長】

- ・ それでは、その他に移りたいと思います。事務局より何かございますでしょうか。

【事務局】

- ・ 事務局では特にございません。

【大沢部会長】

- ・ 何か全体を通じてございますか。

【大沢部会長】

- ・ それでは、議事が終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

4. 閉会

【事務局】

- ・ 本日は長時間にわたり活発にご議論いただきまして誠にありがとうございました。
- ・ 次回の東西交通専門部会につきましては、2月から3月の時期に開催したいと考えています。日程は決まり次第ご案内させていただきますので、ご協力をよろしくお願い致します。
- ・ これをもちまして、令和3年度さいたま市地域公共交通協議会第1回東西交通専門部会を閉会します。本日はありがとうございました。

以上